

栃木県総合教育センターだより

# 学びの杜通信

第103号 令和6(2024)年11月11日発行



## 栃木県教育研究発表大会申込みが始まります

令和7(2025)年1月24日(金)25日(土)に、「栃木県教育研究発表大会」(オンライン開催)を実施し、県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究成果等を広く公開いたします。今大会は、各部会の発表に加えて、文部科学省主任視学官の田村 学 氏による教育講話、特別企画「メタバース(仮想空間)体験」も予定しております。多数の御参加をお待ちしております。

【日程及び発表部会】

【特別企画】

1月24日(金)	1月25日(土)
<b>【1部】 9:50~11:30</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 人権教育部会</li><li>● 児童・生徒指導部会</li></ul>	<b>【1部】 9:50~11:30</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学校と大学の協働的実践研究部会</li><li>● 教科における探究部会(高)</li></ul> <p>【※上記の「教科における探究部会(高)」については11時50分に終了予定です。】</p>
<b>【2部】 12:50~14:30</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● STEAM教育部会</li><li>● 生涯学習部会</li><li>● 特色ある取組部会</li></ul>	<b>【2部】 12:50~14:30</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 特別支援教育部会</li><li>● 校内研修の充実部会(小・中)</li></ul>
<b>【3部】 15:10~16:50</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 教育DX部会</li><li>● 幼小連携部会</li><li>● 学力向上部会</li></ul>	<b>【3部】 15:10~16:50</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 【教育講話】<small>【※ 後日、申込者を対象に、オンデマンド配信予定】</small></li></ul> <p>演題 「『主体的・対話的で深い学び』を改めて考える～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実～」</p> <p>講師 文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学 氏</p>

2月8日(土)
<b>メタバース体験</b>
※仮想空間の中で自分のアバターを動かして資料閲覧や意見交換などを体験することができます。 (各テーマ:定員30名)
<意見交換テーマ>
<b>【10:00~12:00】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 校内研修どうつくる?</li></ul>
<b>【12:30~14:30】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 探究について探究しよう</li></ul>
<b>【14:30~16:30】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プログラミングのひろば</li></ul>

各部会の詳細やメタバース体験の内容は、右記QRコード、または、Webサイト

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/r06-kenkyu/>からお申込みください。

参加申込は、令和7(2025)年1月17日(金)まで お願いします。



### 参加申込みについて

- 上記Webサイトから、入力フォームに必要事項を入力し、参加希望の部会等を選択してください。
  - ※ 各自で、お申込みください。
  - ※ 団体を視聴する場合は、申込者が、視聴人数を入力してください。
  - ※ 申込みの際、連絡可能なメールアドレス等を入力してください。
  - ※ 申込みの後、自動で確認メールが返信されますので御確認ください。
- 【教育講話】に申し込まれた方には、後ほど、【教育講話】のオンデマンド配信期間等の情報についてお知らせします。
- 実施に関する変更等がある場合には、当センターWebサイトのトップページにお知らせを掲載します。



【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(研究調査部 Tel 028-665-7204)

# 総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」の御案内

『学びの杜の冬休み』は、当センターの人的・物的資源を開放し、子どもたちの豊かな体験活動や生涯学習ボランティアにとっての学習機会を提供する目的で、毎年実施している事業です。子どもたちだけでなく、大人の方も楽しく学べる活動をたくさん用意しています。

日時：令和6（2024）年12月14日（土）【雨天決行】 10時～15時（開場9時45分）

会場：栃木県総合教育センター

## 【予定している活動内容】

「ふれる」活動	「わくわく理科実験～マイナス196℃の世界を体験～」 「レッツ、ボッチャ！」「スポーツ広場」「リズム楽器でアンサンブル」 「知ってる？できる？なつかしの遊び」 等
「つくる」活動	「わくわく理科実験～光るスライムをつくろう～」 「親子はり絵教室」「勾玉（まがたま）をつくろう」 「松ぼっくりツリーとクリスマスカードをつくろう」 等
「考える」活動	「チャレンジ射的ゲームで楽しもう」 「算数・数学パズル」「県庁所在地あてクイズ」 「Scratch+micro:bitでプログラミング」 等

※活動は、年齢、興味に合わせて自由に選べます。

- その他：
- 一部の活動では事前申込みや材料費の支払いが必要となります。事前申込みや、材料費が必要な活動については、下記Webサイトから確認及び参加申込みが可能です。
  - 活動によっては当日の受付順による定員制となるものがあります。
  - 軽食の販売（数に限りがあるため完売したら販売終了）もあります。

◎各学校宛てに開催案内を送付しております。子どもたちへの周知に御協力ください。

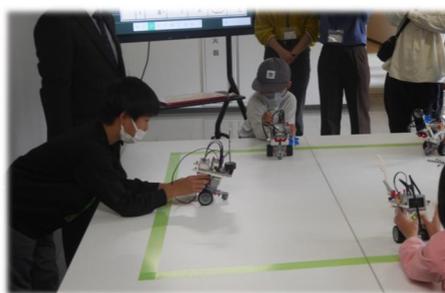
## 【昨年度の活動の様子】



「知ってる？できる？なつかしの遊び」



「結んでバッグをつくろう！」



「ロボブロックで動くペットをつくろう」

◎イベントの詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

[https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog\\_entries/view/155/9315840e66a031dc8b41783a03c2c4a0?frame\\_id=204](https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog_entries/view/155/9315840e66a031dc8b41783a03c2c4a0?frame_id=204)



「とちぎレインボーネット」へ

【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）

# 総合教育センター機器更新に関する整備状況

## 研修受講者用 Wi-Fi 整備と今後に向けたお願い

当センターでは、機器更新に伴い、来所者（研修受講者、生涯学習施設利用者）が利用できるWi-Fi環境「**TEC Link (Tochigi Education Center Link)**」を整備しました。研修受講者等は授業用タブレット端末を、生涯学習施設利用者等は**個人所有の端末**をそれぞれ持参し、インターネットに接続することが可能になります。研修等でタブレット等を活用することにより、ICTの活用について具体的な協議を深めることができるなど、研修効果を高めることが期待できます。また、研修資料にアクセスし、資料の閲覧や管理も簡単に行えるため、ペーパーレス化の推進にもつながります。

今後、受講される皆様がタブレット端末を持参して研修を受講できるよう、現在は所内での検証を進めているところです。今後は各教科等の研修の中での検証も予定しております。各教科等の研修担当者から協力依頼があった場合は、管理職に確認の上、タブレット端末の持込について可能な範囲で御協力ください。なお、タブレット端末の持ち出しやメールアドレスの利用に関しては、所管する教育委員会のルール等にしがたってください。



栃木県総合教育センター

## 当センターへの持込端末の利用に向けて

### 所内に研修受講者用Wi-Fi※完備！

※名称：TEC Link(Tochigi Education Center Link)

どこでもインターネットに接続可



#### ●タブレット端末を持参して受講できる！

- ・端末を活用して研修効果アップ
- ・端末活用による学びの可能性を広げる



#### ●資料をデジタル化して利用が便利に！

- ・データをダウンロードして共有
- ・互いの資料を閲覧できる。(ペーパーレス化も進む)



プレゼンテーション  
思考ツール  
協働学習 深い学び

#### 【端末利用に関するお願い】

・「端末の持ち込み」や「メールの利用」については、所管する教育委員会の定めるルール等にしがたってください。

・持ち込み端末からインターネットに接続する際のルール等については、栃木県総合教育センターWebサイトを御確認ください。



受講者の皆様にとって、より効果的な研修の実現を目指します！

#### 【センター研修用機器更新に関する主な整備内容】

- TEC Link（研修受講者用 Wi-Fi）
- 大型スクリーン（408・409 研修室、学習室）
- PC・タブレット（パソコン室、各研修室）
- 電子黒板（パソコン室）

【問合せ先】 研究調査部（Tel 028-665-7204）

# たくさんの御応募ありがとうございました

## 栃木県児童生徒発明工夫展覧会

今年度は、小学校から16作品、中学校から138作品、高等学校から9作品、少年少女発明クラブから37作品、合計200作品の応募がありました。10月16日に栃木県産業技術センターで行われた審査の結果、金賞10作品、銀賞15作品、銅賞15作品が決定しました。なお、金賞を受賞した作品は、「第83回全日本学生児童発明くふう展」に出品されます。

10月18日～20日に開催された展覧会には、多くの来場者が見られました。今年度は、感染症対策関連の作品は少なくなり、身近な問題を解決したり、困り事を助けたりして、生活をより快適にするために、様々なアイデアや工夫を凝らした作品が多かったように思います。作品の変化を見ると、本展覧会は「時代を映す鏡」のように感じます。どの作品も独自の視点と創造力が見事に表現されており、なるほどと驚かされる工夫が随所に見られました。自分の発想を基に、成功や失敗を繰り返しながら試行錯誤し、徐々に形にしていく過程は、子どもたちにとって「大きな学び」につながるものです。来年度も、柔軟な発想から生み出される魅力的な作品をお待ちしています。金賞受賞作品の概要を、当センターのWebサイトにて紹介する予定ですので、ぜひ御覧ください。

### 【金賞受賞作品】

他8点



「安心安全君」



「適温ランチボックス」

## 日本学生科学賞栃木県大会

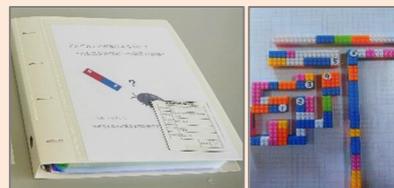
今年度は、中学の部に14作品、高校の部に25作品の応募がありました。10月3日に栃木県総合教育センターで開催された審査会において、中・高合わせて、最優秀賞6作品、優秀賞14作品、優良賞11作品が決定しました。最優秀賞に選ばれた6作品は、今後、中央審査に出展されます。

今年度の作品は、身近な疑問や日頃の授業の学びから疑問を見いだして研究を始めたもの、部活動や個人で長年取り組んできた研究をさらに深化させたものなど、テーマや内容は多岐にわたっていました。また、身の回りのものを活用して新たに実験装置を製作してデータを収集したり、分析や考察の方法を工夫したりするなど、探究の過程を踏まえながら丁寧に研究を進めている作品が多く見られました。

生徒の皆さんには、本大会への参加を通じて、学校の授業や身近な現象の中に隠れている謎や疑問について、科学的手法を用いて探究し、その過程の中で論理的思考を身に付け、多くのことを学んでほしいと願っています。来年度も、物理・化学・生物・地学・広領域のそれぞれにおいて、「科学を楽しむ気持ち」をもって探究して練り上げた作品をお待ちしています。

上記の栃木県児童生徒発明工夫展覧会・日本学生科学賞栃木県大会については、右の2次元コードからもアクセスできます。11月下旬には当センターWebサイトにて掲載予定です。

### 【最優秀賞・栃木県知事賞】



【中学の部】

ダンゴムシに磁覚はあるのか？



【高校の部】

PVDFによる雨・雷の振動発電



【問合せ先】研究調査部 (Tel 028-665-7204)

## 保護者の安心をつなぎましょう～小学校入学説明などを通して～

就学時健康診断の時期です。この日に、入学準備に向けた保護者説明を行う小学校も多いことと思います。期待と不安が入り交じる心情の保護者に、安心を高めるような話にしていきたいですね。



小学校教員

私たちは、入学してくる子どもたちが、たくさんの力を持っていることを知っています。遊びの中で育んできた、学習の土台になる力。それらを十分に生かせるよう、学校での活動を工夫していきます。

これまでの幼児教育施設での遊びや生活が、小学校での学習にしっかりとつながっていることを伝えていきましょう。また、スタートカリキュラムなどで、これまでの育ちを生かしていることも伝えていきたいですね。



これまでの子どもの育ちについて、振り返ることもポイントですね！



入学前 遊びの中での学びの様子

幼児教育施設と小学校が日頃からつながり、子どもの育ちの理解を深めることは、保護者の安心もつなぎます。子どもと保護者が、ドキドキわくわくした小学校生活のよいスタートが切れることを願っています。

【問合せ先】 幼児教育部 (Tel 028-665-7215)

### 冬季の防寒対策のお願い

当センターでは空調機器等により、各研修室を適温に保てるよう努めております。しかし、冬季においては天候等により、室温が上がりにくい場合があります。

そのため、研修・講座等に参加される皆様におかれましては、膝掛け等を持参するなど、防寒についての準備もお願いいたします。

